

ASSOCIATION OF
MUSICAL ELECTRONICS INDUSTRY

AMEI

News

1998年7月6日発行

Vol.7

(社) 音楽電子事業協会第2回通常総会開催



来賓ご挨拶 通商産業省 振角課長

平成10年5月27日 17:00より「ホテル・エドモント」にて社団法人音楽電子事業協会第2回通常総会が行われ、引き続き19:00より同ホテルにて多数のご来賓の出席も得、懇親会が賑やかに開催された。

CONTENTS

第2回通常総会が開催された、平成10年度事業計画	2	VIRTUAL MIDI WORLD '98	8
平成10年度事業計画	3・4	MPWG, GML2, JIS	9
「MIDI WORLD '98」開催概要	5	AMEI よりのお知らせ	10
「MIDI WORLD '98」セミナーとコンサート	6	組織図と役員名簿	11
「MIDI WORLD '98」会場地図、出展社一覧	7	AMEI 会員名簿	12

第2回通常総会が開催された

総会：議事次第

日吉会長のご挨拶、通商産業省情報処理システム開発課中田光一係長の来賓ご挨拶があり

- 第1号議案 平成9年度事業報告
- 第2号議案 平成9年度収支決算報告および監査報告
- 第3号議案 平成10年度事業計画案
- 第4号議案 平成10年度会費規則改訂案
- 第5号議案 平成10年度収支予算案
- 第6号議案 役員改選案

上記の議案が総会議案書に基づき審議、承認された。
村井常務理事の閉会挨拶にて総会は終了した。

平成10年度の事業計画（委員会活動）

（平成10年4月1日から平成11年3月31日まで）

専門委員会の新設、改名、解消

- ①電子音楽標準化方針委員会の発展的解消
MIDI規格のJIS化原案作成のため、工業技術院から委託を受け、平成8年4月より活動して来たが、JIS原案が完成し工業技術院に提出、その任務は終了した。
- ②デジタル・レコーディング研究委員会をデジタル・レコーディング委員会に昇格改名
- ③「MIDI認定制度」研究委員会の新設
その役割は「MIDI検定試験」を平成10年度実施を目指して、検討・企画・実践する。（MIDI及びマルチメディア人材の育成、MIDI普及啓蒙を目的として）

ハードウェア委員会

（安全規格部会）（事業計画第1条の2項の1、第1条の3項、及び第2条）

- ①音楽電子機器の安全性自主依頼試験の新ルールによる推進
- ②安全規格関連の規格調査と変動状況把握及び会員への情報提供
UL6500対処についての技術検討、IEC-J実施に向けた準備、輸入事業者の技術レベル向上
- ③EMC（電波障害）関連の状況調査と情報提供
各国規制の調査情報収集と会員への情報発信
- ④PL関連
PL関連情報の提供、試験所見学とラボとの交流を通じ、相互信頼を増進

（環境問題研究部会）（事業計画1条の3項）

- ①国内外の環境に関する法・規制等の動向調査、対応策の検討
オランダ・ドイツなどの廃電子機器令、各国の化学物質規制、容器包装リサイクル法等
- ②環境問題に関する講演会・見学会等の実施
ISO1400シリーズへの、及び廃電子機器の処理リサイクルへの対応、包装の改善事例の紹介、製品アセスメント実施例の紹介
- ③電子楽器業界としての環境問題に対する対応
環境マネジメントシステム・監査への取り組み検討、会員会社のISO14001取得事例の紹介
- ④環境対応型商品作りへの対応
省エネルギー型商品、高リサイクル率商品や有害化学物質フリー商品作りへの活動

MIDI規格委員会

（事業計画第3条の2項）

- ①MIDIソフト規格のまとめ、新規格の立案、規格の普及啓蒙
 - *GML-2規格を平成10年度初めに正式規格化・仕様書の作成及びその普及・啓蒙
 - *歌詞付きSMFの規格を平成10年度初めに正式規格化・仕様書の作成及びその普及・啓蒙
 - *DLS-1のレベルアップ・改善を含めたDLS-2規格の検討・作成及びその普及・啓蒙
- ②次世代対応としてのIEEE1394、USB、MPEG-4規格等に関する研究の強化と具体的規格化の推進
- ③規格の普及啓蒙活動
 - *新規規格（GML-2、歌詞付きSMF、DLS等）の普及・啓蒙
（規格書の出版、講習会、セミナー等の展開）
 - *日本語版MIDI規格書の発行と頒布
- ④MMAとの連携・協力の強化
 - *MMAとの新対応コミュニケーションの実施
 - *NAMM視察団派遣、MMAとのプリミーティング、総会に参加

著作権委員会

(カラオケ部会) (事業計画第1条の2項の2)

- ①「業務用通信カラオケによる音楽著作物の利用に関して」JASRACとの間で「業務用通信カラオケ規定」を平成9年9月合意をしたが、この内容について必要に応じ検討をして行く。

(伝送系部会) (事業計画第1条の2項の2)

- ①「ネットワーク音楽著作権問題協議会」(9団体)を通じ、AMEI会員の意見を反映させた形で JASRACとの協議会を継続、「ネットワーク音楽著作権使用料」に対応して行く。

＊AMEIの現在段階での基本的考え方

- ・基本使用料は原則として拒否する
- ・利用単位使用料
- ストリーミング配信方式 配信サービス収入の2/100
- ダウンロード配信方式 配信サービス収入の4.5%
- インターネットキャスティング方式 ストリーミング配信と同じ処理

(パッケージ部会) (事業計画第1条の2項の2)

- ①パッケージ部会を新設、JASRACより各社個別に呈示されている「インタラクティブ再生が可能なソフトへの録音(CD-ROM)」料金案にたいしてAMEI著作権委員会として協議する事をJASRACに申し込み、部会にて検討、JASRACに要望書を作成・協議に入る。(ビデオ協会、日本レコード協会、マルチメディアタイトル制作者連盟とも情報交換を密にし)

(プロテクト部会) (事業計画第1条の2項の3)

- ①音楽データ(SMF等)の違法複製防止の為に技術方式及び心理的抑制方法を検討し、実施に向けての方策を確立する。(電送配信あるいはパッケージ頒布が適法に行われ、かつそれに関わる音楽著作権使用料が適正かつ公正に設定されるよう)
- ＊違法コピー防止の技術的方法とし「電子透かしによる認証方式」を検討
 - ＊違法複製を心理的に抑制する為の「コピー禁止ロゴマーク」を検討
 - ＊MMAとの連携をして行く

ソフトウェア委員会

(事業計画第4条の2項)

電子音楽ソフトウェアに関わる市場の育成及び業界の発展・活性化の推進

- ①例会を10回開催、各委員会、部会の活動内容の報告及び検討と会員の勉強会と問題提起のためのセミナーを外部講師を招いて実施(9回予定)

②マルチメディア研究部会

- ＊マルチメディアを通じたMIDI、音楽電子事業の活性化、普及
- ・マルチメディアとMIDI、音楽事業に関する各種セミナーの実施
- ・先端技術動向の調査
- ・AMEIホームページの活用

＊標準化活動(WGによる)

- ・GMシステムレベル2に関する動向調査、ソフトウェア標準化企画
- ・GMシステムレベル2スコアに関する標準化案作成

③マーケティング部会

- ＊「MIDI WORLD '98」会期中「MIDI セミナー」を実施する。(10年7月24日)
- ＊MIDIソフトウェア等の販売流通問題の検討、討議
- ＊AMEI ホームページ活用

業務委員会

(事業計画第4条の2項)

- ①「MIDI WORLD '98」(音楽・夢・ネットワーク)を東京国際展示場「東京ビッグサイト」西ホールにて7月24日より26日 3日間 開催

＊「家族ではじまるパーソナル・マルチメディア：ばそまる98」と併催(同日、同場所にて)する。

＊社団法人音楽電子事業協会、日本経済新聞 主催

＊後援：通産省、文化庁、日本楽器フェア協会

＊約40社規模の参加、入場者は「ばそまる98」と共通の為、計約10万人が想定

MIDI認定制度研究委員会

(事業計画第4条の2項)

＊MIDI規格の普及・啓蒙(人材育成)を目的として、「MIDI検定制度」(検定試験、その為のセミナー、その為のガイドブック、等々)を平成10年度実施を計画、検討、実践する。

＊7月までに検討結論を出す。

実施は平成11年1月17日(予定)

マルチメディア推進委員会

(事業計画第4条の2項)

①活動目的

- 1、マルチメディア産業内での電子音楽、電子音響技術の地位の向上を計る。
- 2、マルチメディア産業内での業界共通の電子音楽、電子音響技術に関する情報を毎年テキスト化（CD-ROM）し発刊する事によって啓蒙普及を計る。
- 3、マルチメディア産業内での業界共通の電子音楽、電子音響技術に関する最新の知識情報に関する講演会・セミナーを開催して会員相互の理解を深める。

②運営内容

＊「技術部会」講演会・セミナーの開催を中心に技術情報の啓蒙普及を計る。

主たるテーマ予定：

PCIバス対応のサウンドカード、MPEG 4 におけるMIDIの取り扱い、MPEG 2 及びAC 3、デジタルドルビー、DTS、DVD-ROM、DVD-RAM、次世代CD（スーパーオーディオCD）とDVDオーディオ、IEEE1394/USB/GML 2 のアップデイト情報

＊「人材育成部会」マルチメディア・テキスト（CD-ROM）の‘99年版 作成・改訂（最新技術情報）を実施する。

＊年6回の「技術部会」「マルチメディア推進委員会」を開催する。（5、6、7、8、1、2月予定）。年3回の人材育成部会を開催する。（4、8、2月）

デジタル・レコーディング研究委員会

(事業計画第4条の2項の1)

①「デジタル・レコーディングに関わる問題点の認識と改善」を目的とし、各社固有の機材についての勉強会と下記WG方式で活動を展開。

又その活動成果をいかに活用して行くかがテーマ。

②3つのWG展開

1、AMEI・デジタルレコーディング研究委員会のホームページの有効活用と拡大発展を促進する。（告知の展開、ダウンロードができる情報の提供）

2、デジタルレコーディング・ハンドブックの有効活用と効果的運用を促進する。

3、ホームページの自己管理・制作ができる様な講習会を計画する。

＊ユーザー対象の「デジタル・レコーディング・セミナー」の開催（MIDI WORLD '98の中で）

総務委員会・統計資料作成研究部会

(事業計画第1条の1項)

①統計資料の作成を検討する部会を総務委員会の中で、電子楽器、コンピュータ、通信カラオケ、ソフトの各業界の対象商品、分類について検討する。

広報委員会

(事業計画第4条の1項の1)

①会報を平成10年7月、11月、平成11年3月 計3回発行

②平成10年7月 デザイン一新、平成10年度・各委員会事業計画を掲載する

③AMEIホームページを継続的にリバイスする。各委員会・部会ページも強化する。

MIDIWORLD、MIDI検定、MIDIセミナー、講習会、等催事のページを随時作成する。

④ホームページ制作講習会を実施する。

⑤AMEI入会案内を平成10年7月までに改訂版を発行する。

海外視察団の実施

(事業計画第5条2項)

MIDI規格委員会主催にて

①米国NAMM視察団の実施（平成11年1月）

NAMMショウ 音楽電子事業の視察、情報収集

②米国MMA総会出席及びプレミエーティング実施（視察団）

MMAとの協議、情報交換 事項

「MIDI WORLD'98」開催概要

1. 名称 MIDI WORLD '98
1. サブタイトル 音楽・夢・ネットワーク
1. 会期 1998年7月24日(金)～26日(日) 10:00～17:00
1. 会場 東京国際展示場・東京ビッグサイト 西3ホール (東京都江東区有明3-21-1)
1. 主催 社団法人 音楽電子事業協会、日本経済新聞社
1. 後援 通商産業省、文化庁
1. 協力 (財)マルチメディアコンテンツ振興協会／日本楽器フェア協会／日経BP社／
日経ホーム出版社／テレビ東京 (順不同、予定)
1. 協賛 (財)学習ソフトウェア情報研究センター／(財)コンピュータ教育開発センター／
(社)情報サービス産業協会／(社)日本映像ソフト協会／(社)日本音楽スタジオ協会／
日本教育ソフト協議会／日本シンセサイザー・プログラマー協会／
(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会／(社)日本レコード協会／
(財)ニューメディア開発協会／(社)マルチメディア・タイトル製作者連盟／
(社)コンピュータエンターテインメントソフトウェア協会／
(社)パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 (順不同、予定)
1. 展示規模 24社
1. 併設企画 イベントステージ、セミナー
1. 出展対象 ◎MIDI関連楽器・機器
(キーボード、シーケンサー、音源モジュール、レコーディング機器など)
◎電子楽器
◎MIDIを利用したソフト (DTMソフト、MIDIデータ、エデュテインメントソフトなど)
◎音楽ソフト (CD、CD-ROM、CDエクストラなど)
◎パソコンおよび周辺機器
◎通信カラオケ、ネットワークによる楽曲配信システムなど
◎電子音楽関連の専門学校、スクール
◎デジタル音楽関連情報、出版など
1. 同時開催 ～家族ではじめるパーソナル・マルチメディア～ばそまる'98
(主催：日本経済新聞社)
1. 来場対象 ◎音楽に関心のあるパソコンユーザー
◎MIDI機器ユーザー (アマチュア／ミュージシャン・アーティスト／音楽事業関係者)
◎電子楽器演奏および作曲を趣味とする一般
◎音楽流通関係者 (楽器店経営者、楽器卸商など)
◎音楽関連商品の開発担当者、デジタルエンターテインメント関連産業業者など
1. 来場者数 6万人 (見込み、同時開催イベントと共通で10万人の見込み)
1. 入場料 500円 (予定、消費税込み) ※中学生以下は無料
(「家族ではじめるパーソナル・マルチメディア」と共通入場券)

主催者 企画 ブース

展示会場内 ブース

- 「MUSIC SCHOOL CORNER」
音楽専門学校による特別出展ゾーン、音楽に興味のある中・高生に向けて、各校の授業内容や学園生活を紹介する。
- 「MIDIで実験！ホームシアター」
MIDIを同期信号としての側面から捉えるコーナー。現在、パソコンとAV機器、照明などをつなぎ合わせてMIDIで制御、音と画像、照明を操作する実験を行う。
(協力：早稲田大学 山崎芳男教授)
- 「1394/USBによる次世代MIDIの展示」
パソコン、ビデオ等ですでに実用化されているIEEE1394、/USBを使ったMIDIの動作実験を試作機を持ち込み行う。
- 「ネットワーク作品展」 (infodepot)
(国際情報科学芸術アカデミー)
インターネットの新しい利用形態や表現様式を提案する作品展。VRMLを利用して自己と他者の空間的位置を音楽化する「A-X-E-S」、世界中のサーバに登録されたサウンドが出会い、リミックスされていく「WORLDREMIX」などを展示。
(企画：赤松正行、神成淳司 制作：infodepot project team)
- 「AMEIブース」
社団法人音楽電子事業協会のブース、3年目を迎えた社団の活動内容を紹介。
・マルチメディア推進委員会の制作著作の「マルチメディアテキスト98」改訂版
(CD-ROM)の紹介とデモ頒布
・デジタルレコーディング委員会の監修によるハンドブック「これで解ったデジタルレコーディング」の紹介と頒布
・「VIRTUAL MIDI WORLD '98」のパソコンによるデモ。

「MIDI WORLD '98」セミナーとコンサート

東京ビッグサイト・西ホール3・セミナールーム(1) (平成10年7月24日より26日)

○「MIDIセミナーVOL5」～インターネットで変わる音楽ビジネスのトレンド～

参加料：2500円(前売り2000円)
主 催：社団法人音楽電子事業協会・ソフトウェア委員会・マーケティング部会
協 力：ミュージックトレード社
司 会：小松義光氏(株シンタックス)
日 時：7月24日 午後1時～2時30分
内 容：DTMやMIDIビジネスについての基調講演と楽器店・パソコン店関係者を交えてのパネルディスカッション。

○「MIDI検定制度(AMEI主催)の紹介」

参加料：無料
主 催：社団法人音楽電子事業協会「MIDI認定制度研究委員会」
講 師：大浜和史氏(日本シンセサイザープログラマー協会)他 MIDI認定制度委員
内 容：平成10年度より実施されるMIDI認定制度の内容と狙いなど
日 時：7月25日(土) 午前11時～午後12時30分

○「MIDI DATA クリニック」

参加料：無料(クリニック希望者は1作品につき鑑定料1000円・・・前もって事務局に提出・・・募集受付6月1日より7月10日)
クリニック：氏家克典氏、篠田元一氏他(日本シンセサイザープログラマー協会等)

「AMEI MIDI DATAクリニック」鑑定委員

内 容：一般から寄せられた「MIDIデータ」を1流音楽クリニシャンが鑑定・評価する公開クリニック
日 時：7月25日(土) 午後2時30分より午後4時

○「デジタルオーディオ セミナー」

参加料：1500円(前売り1000円)
主 催：社団法人音楽電子事業協会「デジタルレコーディング委員会」
講演者：古山俊一氏
内 容：1、これで解った、デジタルオーディオ・・・基礎講座
2、激論! デジタルレコーディング機器の展望・・・メーカーVSユーザーのインタラクティブ・トークバトル
日 時：7月24日(金) 午後3時より4時 基礎講座
午後4時より5時30分 トークセッション
7月25日(土) 午後1時より2時 基礎講座
7月26日(日) 午後1時より2時 基礎講座

○「プロデューサーというお仕事」

参加料：2,000円
講 師：高橋健太郎氏(音楽プロデューサー、予定)
内 容：プロデューサーの仕事は、音楽的な事からスケジュール管理など事務作業まで、多岐にわたる。一人のアーティストをプロデュースする過程を追いながら、その全貌をエピソードを交えながら紹介する。
日 時：7月25日(土) 午後4時より5時

○「インターネットデビューの方法、教えます。」

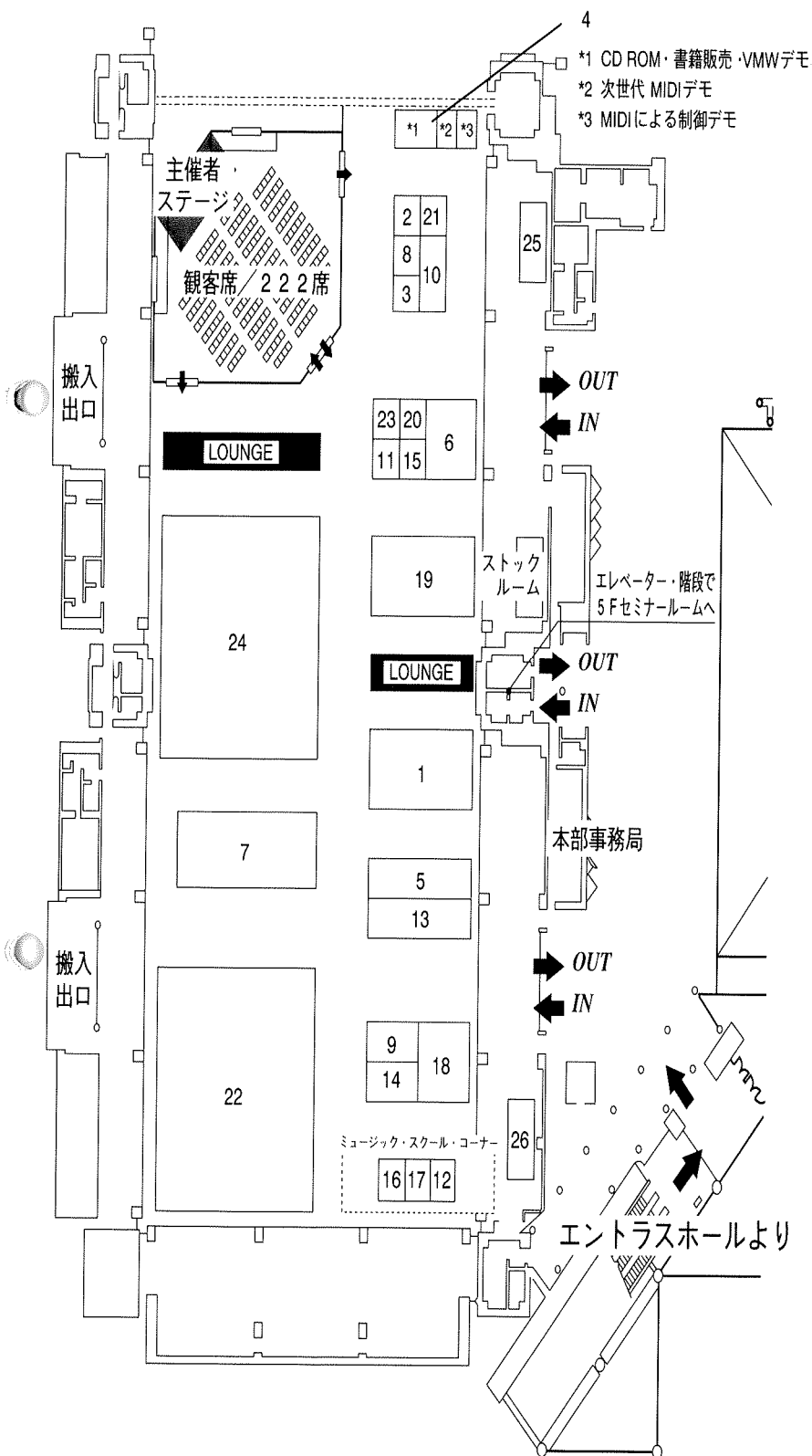
参加料：2,000円
講 師：尾島由郎氏(音楽プロデューサー・コンポーザー)
内 容：今では一般的なコミュニケーションツールとなったインターネット。これを使えば、世界中の人達に自分の曲を聴かせる事が出来るのだ! このセミナーでは、実際にインターネットの世界に飛び込んだアーティストが、自らのエピソードを交えつつ、いかにインターネットを使って音楽を作り、聴かせるかをアドバイスする。
日 時：7月26日(日) 午後2時30分より3時30分

イベントステージ

日時	参加企業名	タイトル	アーティスト名	内容
24日 11:00 -	コルグ	KORG ALLSTARS "Special Live"	CALVIN EDWARDS QUARTET	KORG およびKID取扱商品を使ったスペシャルライブ。当日はライブ収録し後日CDにして販売。
13:30 -	ヤマハ	EOS DAY special	藤田宣久	EOSでお馴染みのキーボードリスト藤田宣久の率いるニュープロジェクト「EZ-edge」のセミナー&ライブ
16:00 -	河合楽器製作所	カワイニュー・デジタルピアノ・プレゼンテーション	クリヤマコト・ユニット	「プロピエニスト「クリヤ・マコト」の演奏で、新製品デジタルピアノの魅力と可能性を探る。
25日 11:00 -	コルグ	KORG ALLSTARS "Special Live"	CALVIN EDWARDS QUARTET	KORG およびKID取扱商品を使ったスペシャルライブ。当日はライブ収録し後日CDにして販売。
13:30 -	アップルコンピュータ	「スグマトピア ～ダンスとMIDIとMacintosh～」	Poety Party (N. キデヒト&チカチグノ)	ヤマハ「ミブリ」を使ったダンスとMIDI サウンドやグラフィックスを融合させたパフォーマンス
16:00 -	ローランド	デスクトップミュージッククリエイターズトークライブ 「DTMサミット@MIDI WORLD '98」	古代祐三、坂上輔、ブラザーナオ、佐藤天平	自らの活動や作品で、サウンドキャンパス SC-88Proを使っているクリエイター達のトークライブ
26日 11:00 -	コルグ	KORG ALLSTARS "Special Live"	杉浦フィルハーモニーオーケストラ	「タモリの音楽は世界だ」で活躍中のグループによるスペシャルライブ
13:30 -	カメオインタラクティブ	Cubase VST エバンジェリスト Rodney Ohpheus 氏来日!	Rodney Ohpheus	Steinberg Cubase VST の紹介
16:00 -	ヤマハ	向谷実&神保彰 HYPER MIDI SESSION	向谷実、神保彰	カシオペアの向谷実とドラマーの神保彰によるMIDIを駆使したスーパーセッション

「MIDI WORLD'98」会場地図、出展社一覧

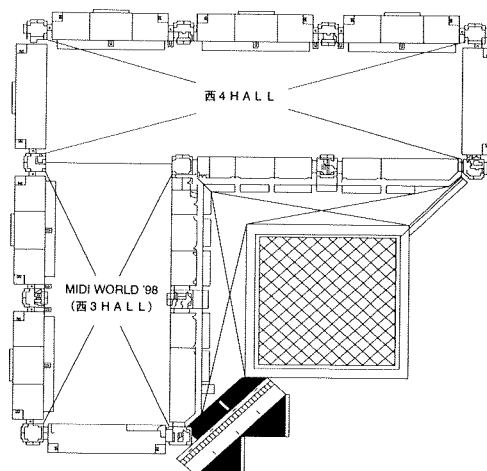
会場レイアウト



MIDI WORLD'98 出展社一覧

24社・団体 (五十音順)

No.	出展社・団体名
1	アップルコンピュータ株式会社
2	有限会社インターネット
3	株式会社オーディオテクニカ
4	音楽電子事業協会 (AMEI ブース)
5	カシオ計算機株式会社
6	株式会社カメオインタラクティブ
7	株式会社河合楽器製作所
8	有限会社キュービックエナジー
9	株式会社コルグ
10	島村楽器株式会社
11	株式会社シーミュージック
12	学校法人 尚美学園 東京ミュージック&メディアアーツ尚美
13	株式会社第一興商
14	ティアック株式会社
15	株式会社テレディック
16	日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校
17	学校法人日本電子学園/日本電子専門学校
18	株式会社フックアップ
19	松下電器産業株式会社
20	ミュージックノート株式会社
21	有限会社ミュレディア
22	ヤマハ株式会社
23	株式会社リットーミュージック
24	ローランド株式会社
25	プレゼント抽選コーナー
26	infodepot



VIRTUAL MIDI WORLD '98

今年の「MIDI WORLD」のテーマは、「音楽」「夢」「ネットワーク」です。そのテーマをインターネットで実現する新しいイベント。時間や空間を越えて、日本が、世界が、音楽で、MIDIでインタラクティブにつながる。「バーチャルMIDI WORLD」、未来を見据えたオンラインイベントです。

目 的

- ・日本中のMIDIに興味を持つ、先進的なインターネット・ユーザーに対して、ホームページの持つビジュアルでインタラクティブなアプローチを図る。
- ・インターネット上のイベントなので、時間や地理を超越したマーケティング・アプローチ。
- ・各社の業務内容、商品の紹介文や写真などを日本中の楽器ファンにアピールする。

開催期間

平成10年6月24日（水）～8月31日（月）

場 所

<http://www.amei.or.jp/midiworld>

集客PR

- 雑誌広告：（MW98） キーボードマガジン、PCFAN、MACFAN マガジン
日経クリック、コンピューターマガジン
（VMW98） サウンド&レコーディングマガジン、ミュージックトレード
日経ネットナビ、あちゃら、サーイサラ
パナー広告 ヤコブ、あちゃら、ネットプラザ
キーワード検索 ネットプラザ
電子メール広告 あちゃら（3万通）、8iLOVE（12万通）、あぐまぐ（45万通）

動員目標

30万人（トップページビュー）

主な内容

- トップページ
MIDI関連ニュース、今日のイベント、MW98の案内などを紹介します
- 出展企業紹介（カテゴリー別）
出展企業の紹介ページのカテゴリー別もくじです
- 出展企業紹介（会社名50音順）
出展企業の紹介ページ（43社）
- アンケート
MIDIや楽器などに関するアンケートを行います
アンケート回答者には、プレゼントを用意します
- リンク・ラリー
出展企業の紹介ページに記載されているキーワードを探して応募すると、抽選で豪華プレゼントがもらえるインターネット版スタンプ・ラリーで、参加企業の紹介ページへのアクセスが確実に上がります
- クールMIDIサイトコンテスト
カッコいいMIDI関連サイトを参加者全員で選ぶ、コンテストです（最優秀賞は豪華審査員で選択します）
優秀サイトには「クールMIDIサイト賞」のロゴの掲示が許され、協賛する出版社の誌面で紹介されます
- WHAT'S MIDI?（予定）
MIDIとは?、からMIDIについていろいろな疑問に答えるAMEIの公式コーナー
- MIDIサイト・リンク集
自分のMIDIサイトをアピールできる、自動登録型のリンク集です
- MIDIフォーラム
MIDIの初心者からマニアまで、オンラインで意見交換ができる電子掲示板です
- MIDI DATA CLINIC応募要領
MIDI DATA CLINICの応募についてのAMEIのホームページへジャンプします
- 音楽電子事業協会のホームページへ
AMEIのホームページへジャンプします

VIRTUAL MIDI WORLD '98出展社

あ

株式会社アイシックス
有限会社アイズ
アップルコンピュータ株式会社
株式会社石橋楽器店
有限会社インターネット
エディロール株式会社
株式会社エストックージャパン
株式会社大阪有線放送社
株式会社オーディオテクニカ

か

カシオ計算機株式会社
株式会社カメオインタラクティブ
カモンミュージック株式会社
株式会社河合楽器製作所
有限会社キュービックエナジー
株式会社コルグ

さ

株式会社シーミュージック
島村楽器株式会社
学校法人 尚美学園 東京ミュージック&メディアアーツ尚美
株式会社シンタックス

た

株式会社第一興商
株式会社タイトー
ティアップ株式会社
株式会社TDK
株式会社ディスカバリーファーム
株式会社テレミディック
株式会社電波新聞社

な

ニフティ株式会社
日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校
日本シンセサイザープログラマー協会
日本電気株式会社/BIGLOBE
学校法人電子学園/日本電子専門学校
日本ビクター株式会社

は

株式会社フェイス
株式会社フックアップ

ま

松下電器産業株式会社
株式会社ミュージックネットワーク
ミュージックノート株式会社
有限会社ミュレイディア

や

ヤマハ株式会社
ヤマハ音楽院
株式会社ヤマハミュージックメディア

ら

株式会社リットーミュージック
株式会社リムショット
ローランド株式会社

MIDI規格委員会応用研究部会

ミュージック・プロトコル・ワーキンググループからの報告

前号、前々号などでも、一部、紹介させていただきましたが、MIDI規格委員会の下部組織である応用研究部会では、「次世代のMIDI」の在り方を模索し、新たな通信媒体や通信方式の上での、音楽情報のやりとりについて、様々な意見交換や、実験用のプロトタイプを持ちよっての実験などを行なっています。

これまで、「MIDI」規格は、広く一般に知られた、技術をベースにしつつも、ローコストで実現可能であることなどにも配慮し、独自のプロトコル、ケーブル、接続トポロジーをもつ、楽器ならではのインターフェース規格として、その基盤を築いて参りました。

MIDI規格策定の当時は、各種のパーソナルコンピュータが、多数、世に出始めた、まさに、デジタル黎明期であり、電子楽器も除々にデジタル化が進みつつある時期でしたが、この10数年の間に、我々が利用できるデジタル技術も飛躍的な進歩を遂げました。

インターネットの普及とともに、同じシリアル伝送技術をベースにした、高速モデムが非常に一般的な周辺機器となりましたが、ここで採用されてきた転送速度などと比較してみますと、28.8Kbps、36.6Kbps、(位置部56Kbps)などの適用速度が一般化したのがほんの数年前であることから、すでに10数年前に産声をあげていたMIDIの31.25Kbpsという転送速度の速さは、民生機器としては、当時から高い水準を指向したものであったことがご理解いただけるかと思います。

さて、ここで、電子楽器や電子楽器に関連した機器に対する、利便性や機能、性能に関して、どのような潜在的な要求があるのかを、大ざっぱに、整理してみたいと思います。

リアルタイム性への要求：

「鍵盤を叩いてからいったい何msで音が聴こえるか？」これは、楽器にとって永遠の課題であり、「遅い！」と感じられるようなものは、「楽器」あるいは、「音楽」の用途には使えません。「転送速度が速い」ことだけでなく、「ある時間内に必ず届く」ことが保証されるような転送が行なえることは、「音楽」にとって非常に重要な要素です。

表現力の向上：

MIDIは、Velocity付きでの鍵盤のOn/Offの状態変化を基本とした演奏制御モデルに基づいた体系をとっています。このことは、多くの電子楽器が、鍵盤を持つものを先駆けに発展してきた経緯から、ある意味、自然のなりゆきであったと言えるでしょう。

しかし、一方で、鍵盤以外の形態をベースにしている楽器においても電子化が進み、現在では、ギター、バイオリン、ウィンド系などなどの形態をベースにしたものなどへも、発展してきております。こうした楽器の演奏情報を、その表現力を損ねることなく伝達するには、鍵盤のOn/Offとは異なった演奏制御モデルの導入も必要となってくるかもしれません。

ケーブル配線の簡略化：

電子楽器に関連した機器には、MIDI cableの他、Audioをやりとりするケーブルがつきものです。この方面からも、ノイズに強いデジタル信号による伝送や、高速な媒体を用いての多重化、簡略化への要望があります。また、Audioのみならず、映像に係わる各種のVideo信号とも、同時に利用される場面が増えてきていることから、これらも同時に同じケーブルで伝送できないかという要求もあります。

簡略化については、ケーブル本数の削減の要求があるのももちろんですが、いわゆる、“Plug-and-play”や、物理的にケーブルを抜き差しすることもなく、様々な論理的な接続トポロジーを瞬時に切り替えることを可能にしていくことへの要望もあります。これは、レコーディングスタジオなどで、ラックマウントされている各種のエフェクターの挿入場所や組み合わせを、瞬時に切り替えて聞き比べをしたいなどの要求に根差したものです。

このような要求に応えられるインターフェースを実現するためには、この10数年の間に進んできた各種の基礎技術や、個々の機器あるいはメーカー間の相互接続における現状の問題点をひとつひとつ丹念に検討していくステップを踏んでいくことが必要です。

また、これまで培われてきたMIDI関連のさまざまな資産の継承にも、十分な配慮が必要であると考えられます。すでに、MIDIデータは、CD-ROMの上にSMFという形で記録されたり、コンピュータのシリアルケーブルや、各種のネットワーク媒体を経由して伝達されたりという応用が始まっています。

このような要求のすべてを満たす夢のインターフェースの実現は、もちろん、MIDI cable以外の、こうした様々な媒体の上でのMIDIデータの扱いについてももういちど、整理、分析し、その場面ごとのニーズに応じた可搬性の高いデータのありかたや、インプリメントのありかたについても、ノウハウの蓄積していくことが重要であると考えられます。

こうした観点に立ち、応用研究部会Music Protocol working groupでは、いくつかの具体的な材料として、USBやIEEE-1394など、いわゆる「次世代のシリアル転送技術」と呼ばれるものへのインプリメントの在り方を中心に、AMEI会員の各社の皆さんからの参加を呼び、また、互いに協調しながらの作業を、今後とも、進めてまいります。

AMEIよりのお知らせ

『これで解かった デジタルレコーディング』（ハンドブック）の発刊

プロからアマチュアまで役立つハンドブック 7月初旬完成

- 監修 社団法人音楽電子事業協会デジタルレコーディング委員会
- A5サイズ
- 定価（本体2,000円＋消費税）
- AMEI会員領布価格（本体1,600円＋消費税）
- 発行・お問い合わせ
ミュージックトレード社（Tel.03-3251-7491 / info@musictrades.co.jp）

デジタルレコーディング委員会では、市場拡大が著しいデジタルレコーディング機器について、ユーザーの知識向上を目指したハンドブック。（7月初旬発刊）

デジタルレコーディングに関わる基礎知識から機材の解説、各種機械間の接続やインターフェースのポイント、最新のキーワードを収録した用語集など——プロが手元に置いておいて役立つ情報、アマチュアが機材を取り扱っていくにあたって手助けとなるアドバイスを1冊にまとめました。古山俊一氏が執筆、委員会メンバーがメーカー間を越えた視野から監修にあたっています。ぜひご活用ください。

『マルチメディア・テキスト'98』（CD-ROM）の発刊

4月下旬完成・領布

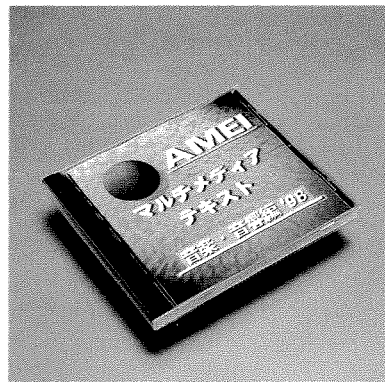
マルチメディア制作者の為の音楽・音響の技術の初歩的なものから高度なものまで、広範な情報を修得できるテキストCD-ROM 98年版。初級・上級により構成、最新技術項目が加えられた改訂版です。

（加筆された主な項目：録音の基礎知識、ソフトウェアシンセサイザー、音源カード、シンセサイザーの最新情報、プラグインソフトウェア、新しい音楽ソフトウェア、USB、IEEE1394などのこれからのインターフェイス、DVDムービーソフトの制作のプロセス、等々）

- 制作・著作 社団法人音楽電子事業協会マルチメディア推進委員会
- 監修・編集 古山俊一
- 定価・5,000円＋消費税（会員領布価格 4,000円＋消費税）
- 発刊お問い合わせ・AMEI事務局
- 内容・HTMLで書かれており、インターネット用ブラウザでプラットフォームに拘わらず読む事が出来ます。文字のみでなく豊富な図版などが収録され概念がつかみ易い内容です。

テキストの内容

1. HTML言語で書かれています。ネットスケープやインターネットエクスプローラーでご覧になれます。
2. 豊富な図版が収録されています。コンピューター画面や図解をCD-ROMに収録
3. 知りたい項目をすぐ調べることが出来ます。用語集としても便利です。
4. 各分野のマルチメディア制作に携わっているエキスパートが執筆しています。
5. オーディオトラックに様々な音の例を収録。
6. ハイブリッド仕様CD-ROMで、Windows・Macintoshどちらでも使用できます。

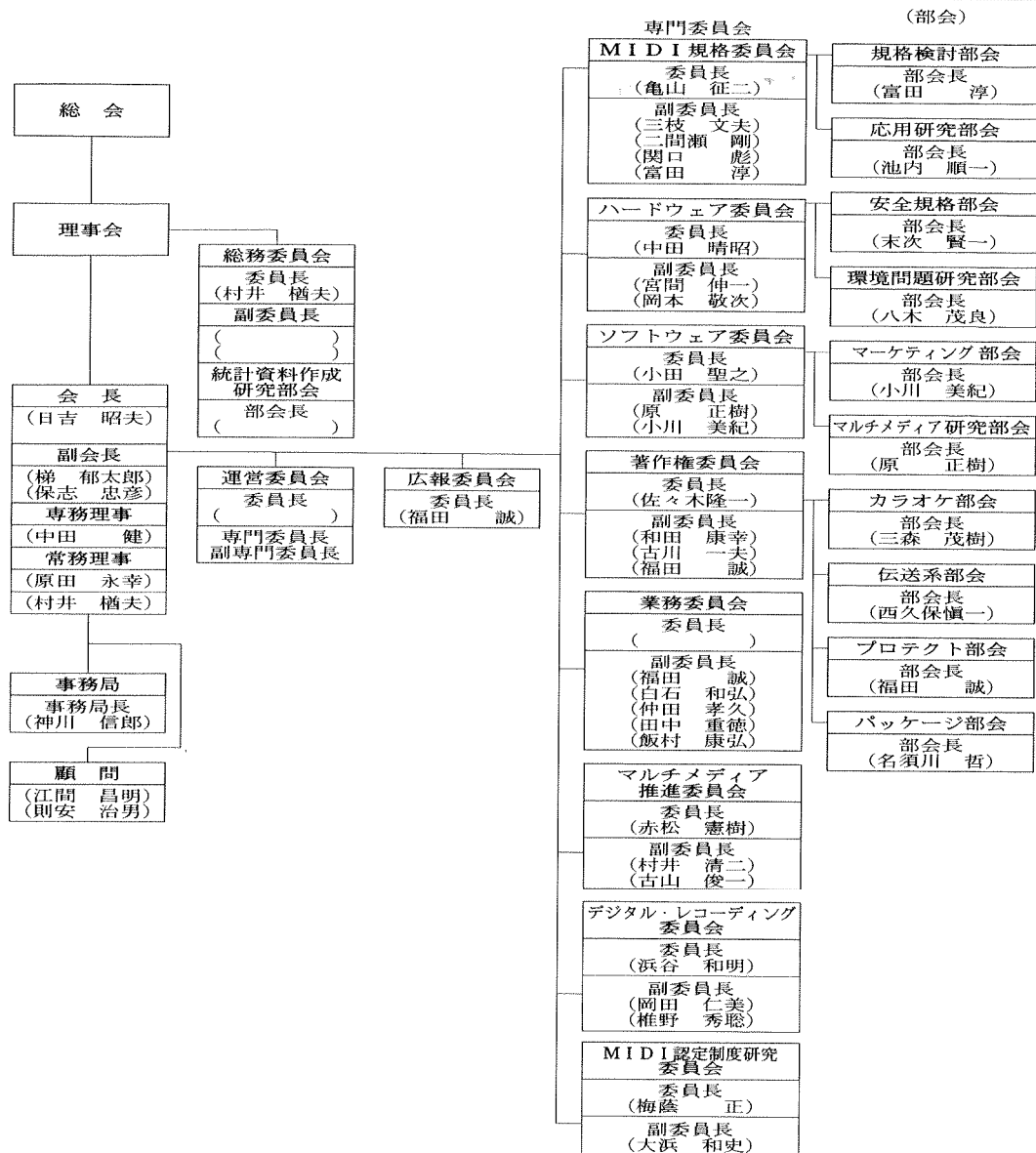


MIDI商標の活用

- (1) 商品のカタログ、オーナーズマニュアル（取扱説明書）、チラシ等に会員以外が『MIDI』を使用・記載する事はできません。
即ち、MIDIというロゴを使って事業する事業者には社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の会員に加入する事をお勧め下さい。
- (2) 会員の「MIDI」搭載商品のチラシ・カタログ・取扱説明書の『MIDI』表示の下、又は後に必ず『MIDIはAMEIの商標登録です』を記載して下さい。

又は MIDI[®] と表示できます。（但し[®]は国内のみで、海外向記載物には表示できません）

社団法人音楽電子事業協会組織図



(社) 音楽電子事業協会 平成10年度役員名簿

会 長	日吉 昭夫	株式会社ヤマハミュージックメディア 代表取締役会長	理 事	竹澤 隆	富士通株式会社コンテンツビジネス 推進本部長代理
副会長	梯 郁太郎	ローランド株式会社代表取締役会長	〃	田上 嘉忠	エディロール株式会社常務取締役
副会長	保志 忠彦	株式会社第一興商代表取締役社長	〃	中村 紘一	株式会社タイトー代表取締役社長
専務理事	中田 健	社団法人音楽電子事業協会事務局	〃	西久保 慎一	マスターネット株式会社代表取締役社長
常務理事	原田 永幸	アップルコンピュータ株式会社 代表取締役社長	〃	羽方 将之	カシオ計算機株式会社常務取締役
〃	村井 樁夫	株式会社カメオインタラクティブ 代表取締役社長	〃	久田 鎮雄	株式会社エクシング代表取締役社長
理 事	赤松 憲樹	学校法人尚美学園理事長	〃	松下 茂雄	日本電気株式会社C&Cマルチメディア事業推進本部 本部長代理
〃	飯沼 浩	ビクターレジャーシステム株式会社 代表取締役社長	〃	三森 茂樹	株式会社セガ・ミュージックネットワークス 代表取締役専務
〃	伊藤 道彦	パイオニア株式会社 エンターテインメントシステム部事業部長	〃	本林 理郎	日本アイ・ビー・エム株式会社副会長
〃	井原 勝美	ソニー株式会社執行役員 常務	〃	森澤 克字	株式会社河合楽器製作所取締役
〃	大坪 文雄	ホームAVカンパニープレジデント	〃	山本 誠二	電子楽器事業本部本部長
〃	大橋 幸雄	松下電器産業株式会社AVC社 電子楽器事業部事業部長	〃	和智 正忠	株式会社ニフティ代表取締役副社長
〃	加藤 孟	株式会社プリマ楽器代表取締役社長	監 事	大内 和衛	株式会社キューブ代表取締役社長
〃	佐々木 隆一	株式会社コルグ代表取締役会長	〃	勝股 敦	株式会社シーティーエー代表取締役社長
		株式会社リットーミュージック会長	〃	加藤 俊秀	株式会社山野楽器海外事業部長
			顧 問	江間 昌明	株式会社河合楽器製作所相談役
			〃	則安 治男	オフィス60代表

AMEI 会員名簿

(五十音順)

あ

株式会社アイ・オー・データ機器
有限会社アイシックス
株式会社アイデックス
アイビジョン株式会社
アイワ株式会社
赤井電機株式会社
アカソフト
株式会社アスキー
アップルコンピュータ株式会社

い

株式会社石橋楽器店
有限会社インターネット

え

株式会社エクシング
エディロール株式会社
株式会社エム研

お

株式会社大阪村上楽器
株式会社大阪有線放送社
有限会社オプ・インターラクティブ
株式会社音響総合研究所

か

株式会社楽販大阪
カシオ計算機株式会社
カスタムテクノロジー株式会社
株式会社カメオインタラクティブ
カモンミュージック株式会社
株式会社河合楽器製作所

き

ギガネットワークス株式会社
有限会社キュービックエナジー
株式会社キューブ

く

クラリオンソフト株式会社

こ

株式会社コナミコンピュータエンタテインメント東京
株式会社コルグ
コロムビア音響工業株式会社

さ

株式会社サンワード

し

株式会社シーティーエー
株式会社シーミュージック

島村楽器株式会社
シャープ株式会社
学校法人 尚美学園

す

株式会社ズーム
株式会社鈴木楽器製作所

せ

セイコーインスツルメンツ株式会社
株式会社セガ・ミュージックネットワークス

そ

ソニー株式会社

た

株式会社タイカン
株式会社第一興商
株式会社タイトー
大日本印刷株式会社
株式会社タムラ製作所

て

ティアック株式会社
TDK株式会社
株式会社電波新聞社

と

東映ビデオ株式会社
東京サウンド株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社友ミュージック

に

株式会社日光堂
ニフティ株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社
日本コロムビア株式会社
日本シンセサイザープログラマー協会
日本電気株式会社
日本ビクター株式会社

は

バイオニア株式会社

ひ

株式会社P F U
ビクターテクニクスミュージック株式会社
ビクターレジャーシステム株式会社

ふ

株式会社フェイス
フォステクス株式会社

不二音響株式会社
富士通株式会社
株式会社ブライトインターナショナル
株式会社プリマ楽器

へ

ベスタクス株式会社

ほ

株式会社朋栄

ま

マスターネット株式会社
松下通信工業株式会社
松下電器産業株式会社
松下電工株式会社

み

有限会社ミュージカルプラン
株式会社ミュージック・シーオー・ジェーピー
株式会社ミュージックネットワーク

も

株式会社モリダイラ楽器

や

株式会社山野楽器
ヤマハ株式会社
財団法人ヤマハ音楽振興会
ヤマハミュージックトレーディング株式会社
株式会社ヤマハミュージックメディア

ら

株式会社ラグナヒルズ
ラムズ株式会社

り

株式会社リットーミュージック
株式会社リムショット

ろ

ローランド株式会社

わ

株式会社ワキタ

〈会員会社 92 社〉

〈賛助会員〉

株式会社音楽之友社
株式会社ミュージックトレード
有限会社ミュレイディア
株式会社ヤスタコーポレーション
株式会社ラプラス

AMEI NEWS Vol.7 / 1998.7.6

社団法人音楽電子事業協会 機関誌

発行： 社団法人音楽電子事業協会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-16-9 イトービル4F

TEL. 03-5226-8550 FAX. 03-5226-8549

発行人： 中田 健

編集人： 福田 誠 (広報委員会)

編集協力： 株式会社 ラプラス

ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>